

風

中継、リレー輸送を検討

○：「東京～大阪間は（ドライバーの拘束時間規制の問題から）ワンマン運行は難しい。今後さらに行政のメスが入ってくるだろう」と話すのは、中継輸送、リレー輸送を検討している谷川運輸倉庫の谷川隆史常務。「中継拠点でのトレーラのスイッチもしくは大型車（ヘッド一体型のトラック）でドライバーが乗り替わるスキームを想定している」。過去には大阪～四国間で同業者と連携し、拘束時間対応として荷下ろし、積み込み、運行を3人のドライバーで分担、中継輸送を行った実績がある。「中継輸送のリスクやルール決めの難しさは理解している。大型車でドライバーの乗り換えのスキームの方が最初は取り組みやすいかもしれない」と引き続き検討していく考えにある。



谷川 隆史さん